# 松井証券株式会社

(東京証券取引所第1部:8628)

2004年3月期(平成16年3月期) 第3四半期決算報告資料



## 目次

セクション1	決算(連結)の概要	2
セクション2	リテール証券業界の状況	18
セクション3	今後の展開	33
セクション4	各種データ	47

本資料は、2004年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は2004年02月05日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証 または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表 現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。



# 決算(連結)の概要

セクション 1



# 2004年3月期(2003年度)第3四半期決算の概要

Part 1



## 2004年3月期第3四半期の業績

### 営業収益は169億円で64%増加(前年同期比)

~営業利益は91.5億円(227%増)、経常利益は89.0億円(219%増)、当期利益は46.5億円(292%増)~

(単位:百万円)

		2003年3月期 3Q(4~12月)	2004年3月期 3Q(4~12月)	前年同期比 (増減率)
営	<b>業収益</b>	10,325	16,929	64%
	受入手数料	7,907	13,754	74%
	金融収益	2,432	3,174	31%
金	融費用	902	905	0%
純営	業収益	9,424	16,025	70%
販	管費	6,623	6,874	4%
営業	利益	2,800	9,151	227%
経常	闭益	2,792	8,895	219%
当期	利益	1,187	4,652	292%

松井証券 2003年3月期第3四

(注)2003年3月期第1四半期に、新システムの導入に伴うソフトウェアの早期償却により 「減価償却費」を1,022百万円追加計上。同費用控除後の利益は以下の通り。 2003年3月期第3四半期:営業利益3,822百万円、経常利益3,814百万円

# 純営業収益の内訳

### 受入手数料は138億円で74%増加(前年同期比)

~信用取引貸付金の増加により、金融収支は23億円で前年同期比48%増~

		2003年3月期 3Q(4~12月)	2004年3月期 3Q(4~12月)	前年同期比 (増減率)
5	受入手数料	7,907	13,754	74%
	委託手数料	7,378	12,913	75%
	引受•売出手数料	13	105	716%
	募集・売出の取扱手数料	15	29	89%
	その他	501	707	41%
7	金融収益(①)	2,432	3,174	31%
	・レーディング損益	△ 14	1	_
営	業収益合計	10,325	16,929	64%
金	融費用(②)	902	905	0%
純営業収益		9,424	16,025	70%
金	融収支(①-②)	1,530	2,270	48%



# 販管費の内訳

### 販管費は69億円で4%増加(前年同期比)

~旧システムの償却が終了し減価償却費が減少したが、売買代金の増加に伴い「事務費」が増加~ (単位:百万円)

	2003年3月期 3Q(4~12月)	2004年3月期 3Q(4~12月)	前年同期比 (増減率)		
取引関係費	1,241	1,588	28%		
広告宣伝費	217	226	5%		
人件費	1,338	1,416	6%		
不動産関係費	542	247	-55%		
事務費	1,915	2,884	51%		
減価償却費	1,418	<i>505</i>	-64%		
租税公課	20	<i>53</i>	158%		
貸倒引当金繰入	75	95	28%		
その他	74	86	17%		
販管費合計	6,623	6,874	4%		



(注)早期減価償却費(1,022百万円)を控除した販管費は以下の通り。 2003年3月期第3四半期:減価償却費396百万円、販管費合計5,601百万円

# 直近4四半期の決算概要

Part 2



# 直近4四半期の業績推移

### 営業収益は69億円で11%増加(直前四半期比)

~営業利益は41.6億円(21%増)、経常利益は39.4億円(16%増)、当期利益は21.4億円(23%増)~

(= -							
		2003年3月期 4Q(1~3月)	2004年3月期 1Q(4~6月)	2004年3月期 2Q(7~9月)	<i>2004年3月期</i> <i>3Q(10~12月)</i>	直前四半期比 (増減率)	
営	業収益	3,100	3,894	6,180	6,856	11%	
	受入手数料	2,332	3,127	5,159	5,468	6%	
	金融収益	793	767	1,021	1,387	36%	
金	:融費用	372	295	293	316	8%	
純営	業収益	2,728	3,599	5,886	6,539	11%	
販	管費	1,988	2,037	2,458	2,378	-3%	
営業	利益	739	1,562	3,428	4,161	21%	
経常	利益	726	1,572	3,385	3,938	16%	
当期	]利益	298	757	1,751	2,144	23%	



# 純営業収益の内訳

### 受入手数料は55億円で6%増加(直前四半期比)

~信用取引貸付金の増加により、金融収支は47%増加~

	2003年3月期 4Q(1~3月)	2004年3月期 1Q(4~6月)	2004年3月期 2Q(7~9月)	<i>2004年3月期</i> <i>3Q(10~12月)</i>	直前四半期比 (増減率)
受入手数料	2,332	3,127	5,159	5,468	6%
委託手数料	2,138	2,899	4,836	5,178	7%
引受•売出手数料	14	5	40	60	49%
募集•売出取扱手数料	1	0	25	3	-88%
その他	178	223	258	227	-12%
金融収益(①)	793	767	1,021	1,387	36%
トレーディング損益	△ 25	0	Δ 0	1	ı
営業収益合計	3,100	3,894	6,180	6,856	11%
金融費用(②)	372	295	293	316	8%
純営業収益	2,728	3,599	5,886	6,539	11%
金融収支(①一②)	420	472	728	1,070	47%



# 販管費の内訳

## 販管費は24億円で3%減少(直前四半期比)

~ボリュームディスカウントにより事務費が2%減少~

		2003年3月期 4Q(1~3月)	2004年3月期 1Q(4~6月)	2004年3月期 2Q(7~9月)	2004年3月期 3Q(10~12月)	直前四半期比 (増減率)
取	引関係費	394	414	589	<i>586</i>	-0%
	広告宣伝費	65	50	83	93	12%
人	件費	448	463	436	517	19%
不	動産関係費	80	84	82	81	-1%
事	務費	649	870	1,017	998	-2%
減	価償却費	161	157	172	176	2%
租	税公課	4	17	52	<i>△ 16</i>	1
貸	倒引当金繰入	239	9	76	10	-86%
そ	の他	15	25	35	26	-25%
販	管費合計	1,988	2,037	2,458	2,378	-3%



# 【参考】前年同期(03年3月期3Q【10月~12月】)との比較

### 04年3月期3Q(10月~12月)の営業収益は69億円で105%増加(前年同期比)

~営業利益は264%増加、経常利益は244%増加、当期利益は258%増加~

	2003年3月期 3Q(10~12月)	2004年3月期 3Q(10~12月)	前年同期比 (増減率)
営業収益	3,348	6,856	105%
受入手数料	2,542	5,468	115%
金融収支	483	1,070	121%
純営業収益	3,020	6,539	117%
販管費	1,875	2,378	27%
営業利益	1,144	4,161	264%
経常利益	1,144	3,938	244%
当期利益	599	2,144	258%



# バランスシートの状況

Part 3



# 貸借対照表(2003年12月末時点)

## 2003年12月末時点の自己資本は364億円

			(+ 12 · 11 / 11 /
資産の部		負債の部	
流動資産	348,611	流動負債	224,217
現金·預金	20,104	信用取引負債	38,436
預託金	144,401	信用取引借入金	13,027
トレーディング商品	71	信用取引貸証券受入金	25,409
約定見返勘定	37	有価証券担保借入金	12,196
信用取引資産	178,244	預り金	57,672
信用取引貸付金	173,434	受入保証金	97,929
信用取引借証券担保金	4,810	短期借入金	12,927
立替金	26	未払法人税等	3,739
短期差入保証金	3,629	賞与引当金	60
その他	2,300	その他	1,257
貸倒引当金	△ 200	固定負債	91,819
固定資産	4,954	社債	60,500
有形固定資産	910	長期借入金	31,037
無形固定資産	2,063	その他	282
ソフトウェア	2,014	特別 <u>法</u> 上の準備金	1,117
その他	49	証券取引責任準備金	1,117
投資等	1,981	負債合計	317,152
投資有価証券	986	資本の部	
その他	1,263	資本金	11,447
貸倒引当金	△ 268	資本準備金	9,296
		利益剰余金	15,724
		その他有価証券評価差額金	△ 43
1		自己株式	Δ 11
		資本合計	36,413
資産合計	353,565	負債·資本合計	353,565

## 自己資本規制比率(2003年12月末時点)

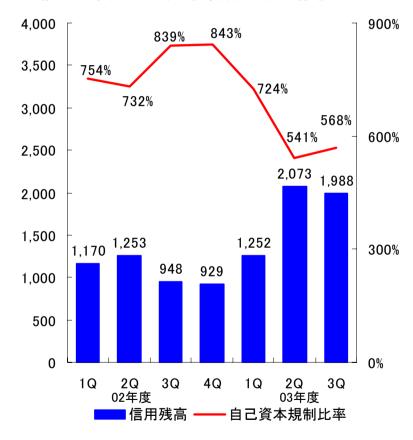
### 2003年12月末時点の自己資本規制比率は568%

~信用残高の減少により、自己資本規制比率は上昇~

#### ◆ 自己資本規制比率(03年12月末)

基本的項目	資本合計	(A)	36,363
補完的項目	評価差額金(評価益)	等	_
	証券取引責任準備金	等	1,116
	一般貸倒引当金		200
	短期劣後債務		500
	計	(B)	1,816
控除資産		(C)	4,427
固定化されてい	ない自己資本の額		
	33,752		
リスク相当額	市場リスク相当額		90
	取引先リスク相当額		3,759
	基礎的リスク相当額		2,096
	計	(E)	5,946
自己資本規制出	567.60%		

#### ◆ 信用残高と自己資本規制比率の推移





# マーケットの状況

Part 4



# 個人株式委託売買代金の状況

### 個人投資家の流動性は株式市場全売買代金の20% (03年度3Q)

~個人株式委託売買代金は71%増加、松井証券株式委託売買代金は112%増加(前年同期比)~

#### 【株式委託売買代金の比較(前年同期比)】

(単位: 兆円)

	1 個人株式委託	個人株式委	:託売買代金 <sup>2</sup>	松井証券株式	委託売買代金
	売買代金シェア	金額	増減率	金額	増減率
2003年3月期3Q (2002年4月~12月)	16%	44.3	710/	4.3	1129/
2004年3月期3Q (2003年4月~12月)	20%	75.9	71%	9.2	112%

出典: 東証統計資料、JASDAQ統計資料

注1: 三市場およびJASDAQの総売買代金に占める個人株式委託売買代金の比率

注2: 三市場およびJASDAQの合計額



# 信用取引残高の状況

### 三市場の平均信用取引残高は、買い残1.6兆円、売り残0.9兆円 (03年度3Q)

~三市場の平均買い残は21%増加、松井証券の平均買い残は43%増加(前年同期比)~

#### 【信用取引残高の比較(前年同期比)】

【買い残高】	松井証券シェア		買い残高 <sup>1</sup> :円)		:買い残高 <sup>2</sup> :円)
	,	金額	増減率	金額	増減率
2003年3月期 3Q (2002年4月~12月)	7.4%	1.3	21%	963	43%
2004年3月期 3Q (2003年4月~12月)	8.8%	1.6	21%	1,378	43%

【売り残高】	松井証券シェア	三市場売り残高 <sup>1</sup> (兆円)		松井証券売り残高 <sup>2</sup> (億円)	
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	金額	増減率	金額	増減率
2003年3月期 3Q (2002年4月~12月)	2.5%	0.9	1%	215	25%
2004年3月期 3Q (2003年4月~12月)	3.1%	0.9	1 70	270	25%



出典: 東証統計資料

注1: 三市場の各月の最終公表残高の平均値(マンスリーベース)

注2: 期中平均残高(デイリーベース)

# リテール証券業界の状況

セクション 2



# リテール株式委託取引

Part 1



## リテール株式取引市場の状況

### 個人株式委託売買代金は31兆円で直前四半期比8%増加 (03年度3Q)

- ~個人株式保有額は68兆円に上昇(個人金融資産の4.9%)~
- ◆ 個人株式委託売買代金1(フロー)
- ◆ 総売買代金に占める個人取引比率

- ◆ 個人株式保有額 (ストック)
- ◆ 個人金融資産に占める株式比率



出典:東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本銀行「資金循環統計」

注1: 三市場(資本の額30億円以上の総合取引参加者)およびJASDAQ市場の合計値



## 松井証券の実績 I (対マーケットとの比較)

### 個人株式委託売買代金に占める松井証券シェアは13% (03年度3Q)

- ~松井証券預かり資産額は7,102億円(03年12月末)、日本の個人株式保有額の約0.9%相当で推移~
- ◆ 松井証券株式委託売買代金 (フロー)
- ◆ 個人株式委託売買代金1に占める松井証券シェア
- ◆ 松井証券預かり資産額(ストック)
- ◆ 個人株式保有額に占める松井証券シェア





出典:東証統計資料、日本銀行「資金循環統計」

注1: 三市場の合計値

1.0%

0.8%

0.6%

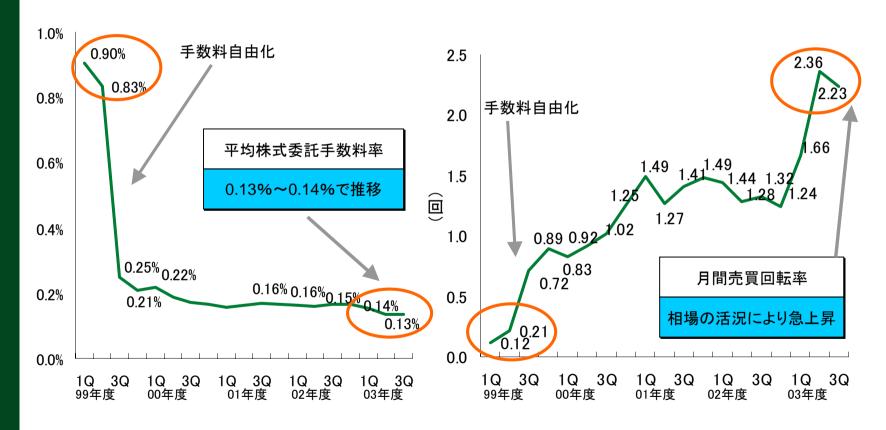
0.4%

0.2%

## 松井証券の実績Ⅱ (手数料率と売買回転率)

### 松井証券の平均株式委託手数料率は0.13% (03年度3Q)

- ~松井証券顧客の月間株式売買回転率は2.23回 (03年度3Q)~
- ◆ 松井証券の平均株式委託手数料率1の推移
- ◆ 松井証券顧客の月間株式売買回転率2の推移



注1: 平均株式委託手数料率=株式委託手数料/株式委託売買代金

注2: 売買回転率=月間の平均売買代金/該当期間の平均預り資産(\*1) (\*1)01年度2Qの預かり資産から、当社役員およびその関係者の預かり資産額を控除



# リテール株式売買代金シェア I (対オフライン証券との比較)

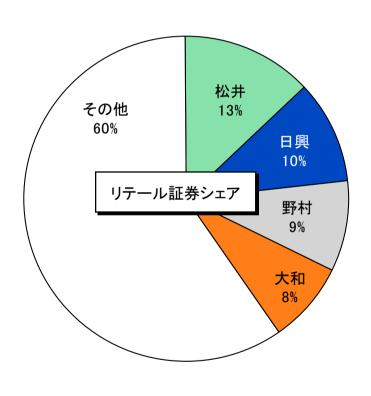
### 松井証券のリテール株式売買代金シェアは大手3社を上回る(03年度3Q)

~債券等の販売に注力している大手証券は、3社合計で27%のシェアにとどまる~

#### ◆ 個人株式委託売買代金¹シェアの推移

### 

#### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア (03年度3Q)



出典: 東証統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料より算出(野村は決算発表資料に基づく概算値)

注1: 三市場の合計値

野村(野村證券のリテール部門)、日興(日興コーディアル証券)、大和(大和証券)

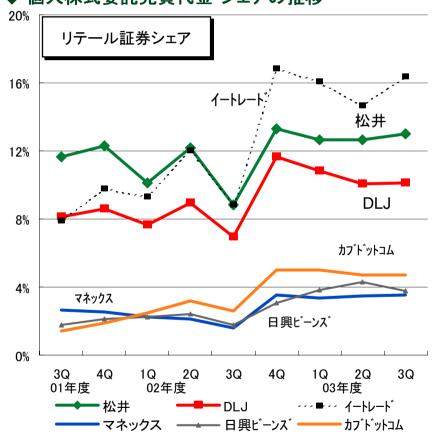


# リテール株式売買代金シェア II (対オンライン証券との比較)

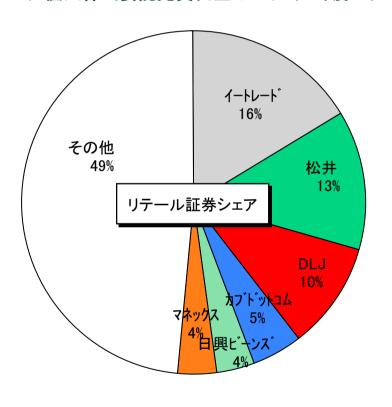
### オンライン証券各社の売買代金シェアは高水準で推移

~オンライン証券主要6社で個人株式委託売買代金の51%のシェアを占める(03年度3Q)~

#### ◆ 個人株式委託売買代金¹シェアの推移



#### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア (03年度3Q)



🛪 松井証券

出典: 東証統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページ

注1: 三市場の合計値

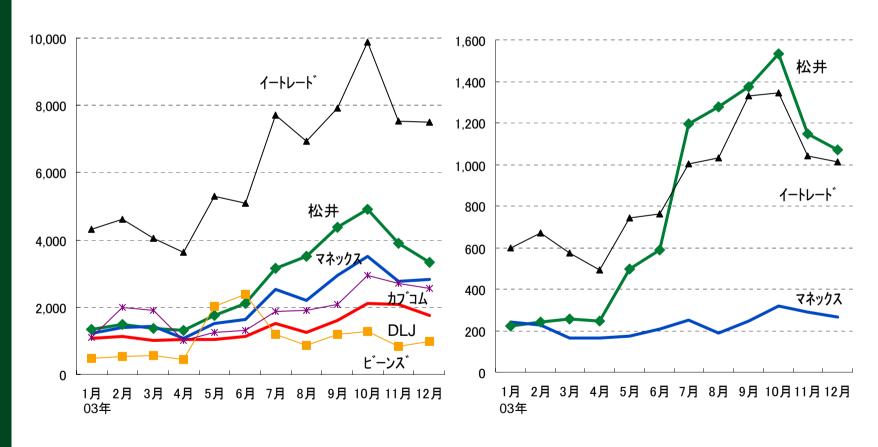
# オンライン証券比較 I (月間口座増加数)

### 松井証券の口座数は、イートレードを除くオンライン他社を上回るペースで増加

~03年7月以降、信用取引口座増加数はオンライン証券でNo.1→無期限信用取引の効果と想定~

#### ◆ オンライン証券の月間口座増加数

#### ◆ オンライン証券の月間信用取引口座増加数





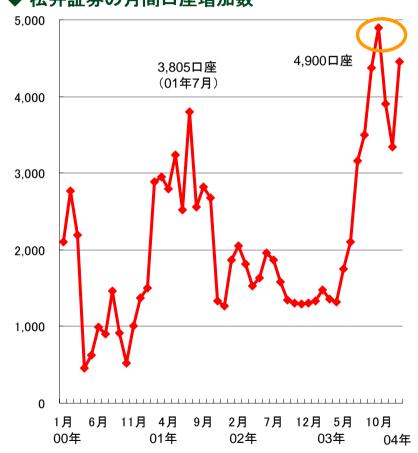
出典:各社ホームページ

# 【参考】口座数の増加数推移

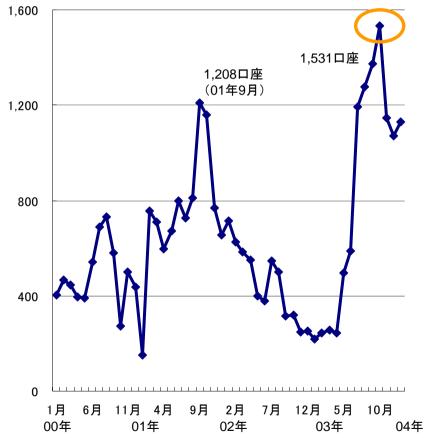
### 03年10月の月間口座増加数(ネットストック口座・信用口座)は過去最高を記録

~新規口座増加ペースは高水準で推移~

#### ◆ 松井証券の月間口座増加数



#### ◆ 松井証券の月間信用取引口座増加数

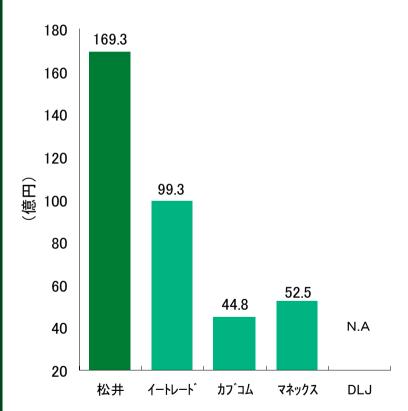




## オンライン証券比較 II (営業収益と経常利益)

### 松井証券の営業収益・経常利益はともにオンライン証券トップ (03年度3Q)

- ~営業収益経常利益率は53%(営業収益の半分以上が利益となる)~
- ◆ 営業収益の比較 (03年度3Q)



- ◆ 経常利益の比較 (03年度3Q)
- ◆ 営業収益経常利益率の比較 (03年度3Q)





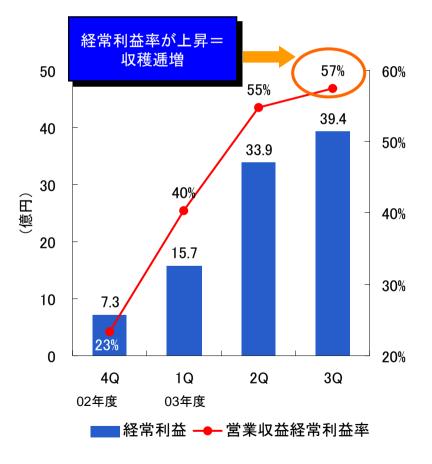
出典:各社決算短信、各社決算発表資料

# 【参考】松井証券の収穫逓増モデル

### "売買が増えれば増えるほど利益率が高まる"松井証券のビジネスモデル

- ~"事務費のボリュームディスカウント効果"が利益率の向上に貢献~
- ◆ 松井証券の株式売買代金と事務費の推移 (02年度2Qを100とした場合の指数推移)
- ホ゛リュームテ゛ィスカウント効果 300 273 売買代金 250 248 200 154 132 150 152 事務費 106 100 100 100 98 89 50 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 02年度 03年度 ━━ 事務費 ━━ 株式委託売買代金

◆「営業収益経常利益率(経常利益/営業収益)」 と経常利益の推移





# リテール信用取引

Part 2

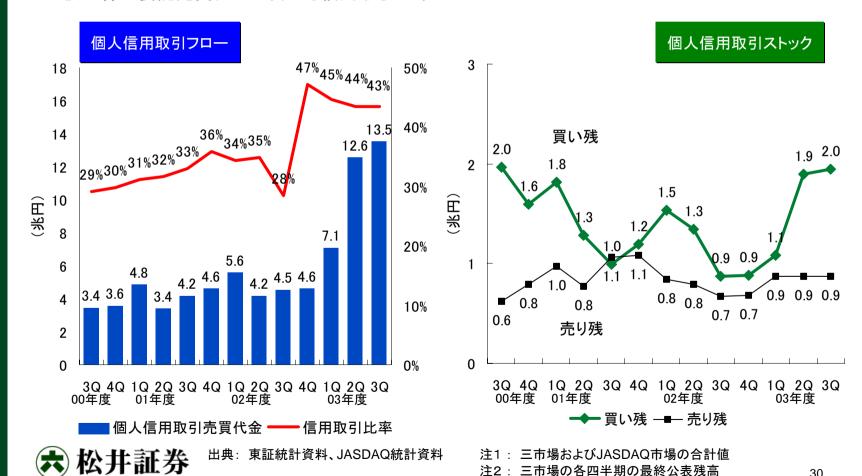


## リテール信用取引市場の状況

### 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率は43% (03年度3Q)

- ~信用取引残高は、買い残(2.0兆円)、売り残(0.9兆円)~
- 個人信用取引売買代金1
- 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率
- ◆ 信用取引残高2(買い残・売り残)

30

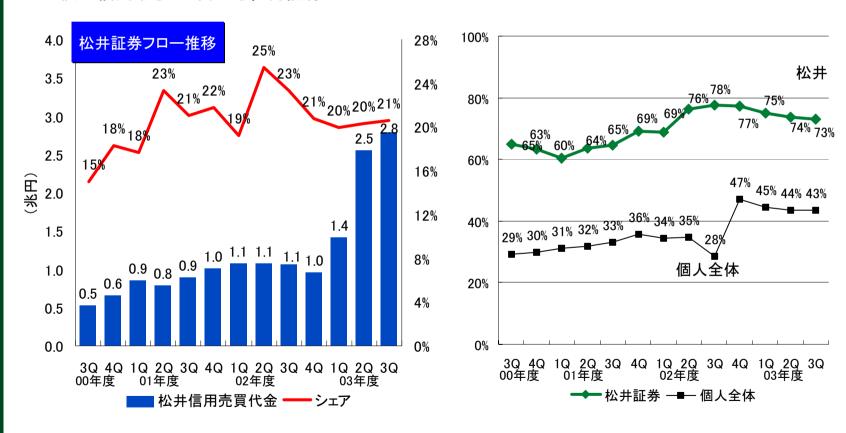


# 松井証券の実績 I (信用取引売買代金の推移)

### 個人信用取引売買代金に占める松井証券シェアは21% (03年度3Q)

- ~松井証券株式委託売買代金に占める信用取引比率は73% (03年度3Q)~
- ◆ 松井証券信用取引売買代金
- ◆ 個人信用取引1に占める松井証券シェア

◆ 株式委託売買代金に占める信用取引比率





松井証券

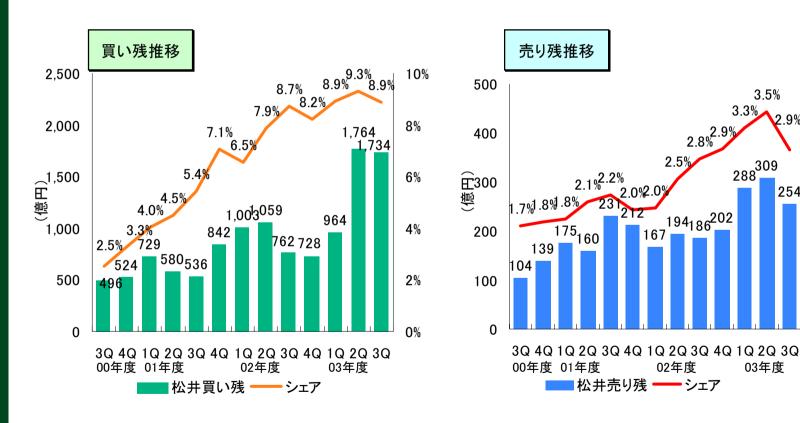
出典: 東証統計資料、JASDAQ統計資料 注1: 三市場およびJASDAQ市場の合計値

# 松井証券の実績Ⅱ (信用取引残高の推移)

### 松井証券の信用取引買い残高は1,734億円、売り残高は254億円(03年12月末)

- ~松井証券の信用取引買い残高シェアは8.9% (03年12月末)~
- ◆ 松井証券買い残高1
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア

- ◆ 松井証券売り残高1
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア





出典: 東証統計資料 注1:四半期末の残高

注2: 三市場の各四半期の最終公表残高

4%

3%

2%

1%

# 今後の展開

セクション 3



# 事業展開

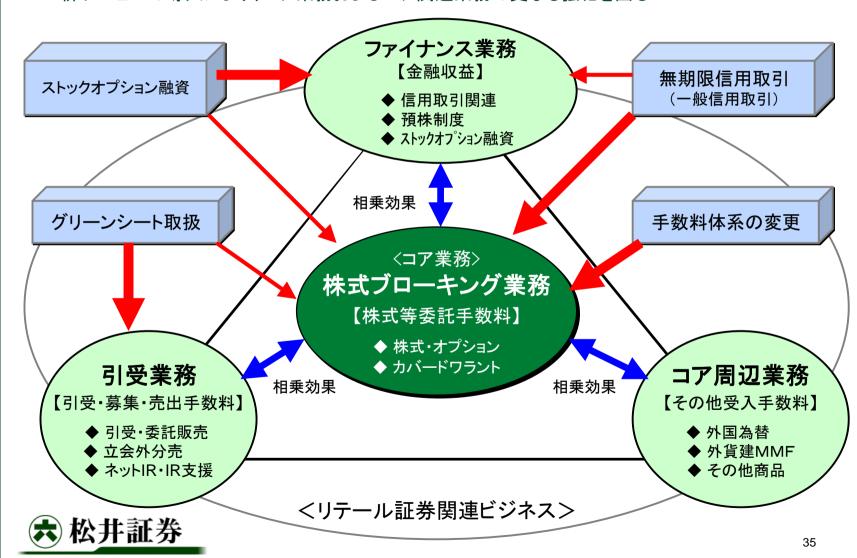
Part1



## 経営方針:コア関連ビジネスへの経営資源の集中

### 株式ブローキング業務をコアとして収益の最大化・安定化・多様化を目指す

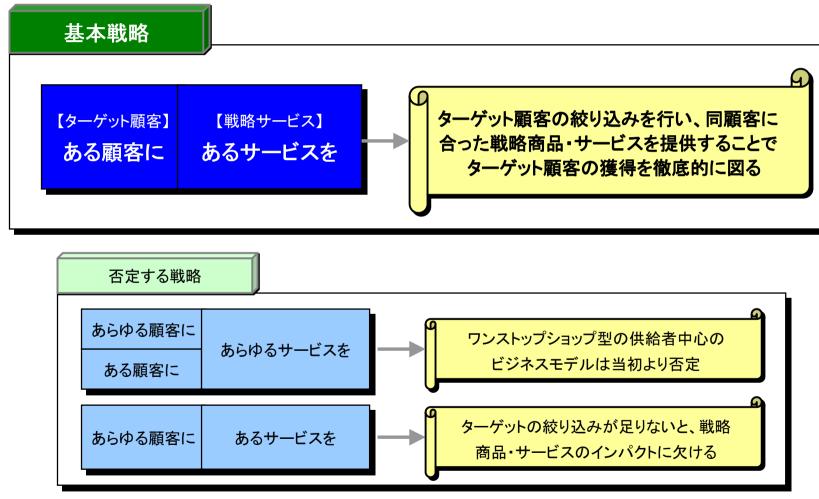
~新サービスの導入により、コア業務およびコア関連業務の更なる強化を図る~



## 基本戦略: "ある顧客"に"あるサービス"を

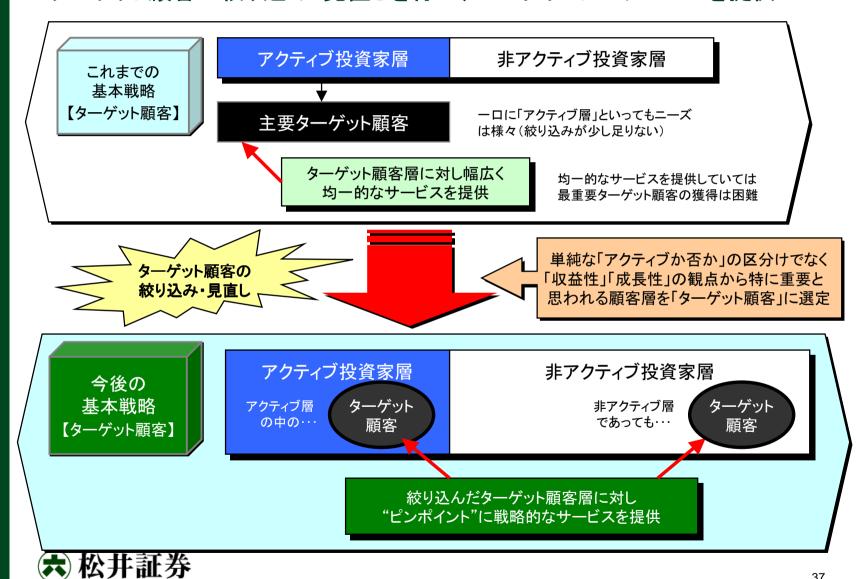
### ターゲット顧客の絞り込みを行い、同顧客に合った戦略商品・サービスを提供

~"あらゆるサービス"を提供するワンストップショップ型のビジネスモデルは採用しない~



### 基本戦略のイメージ

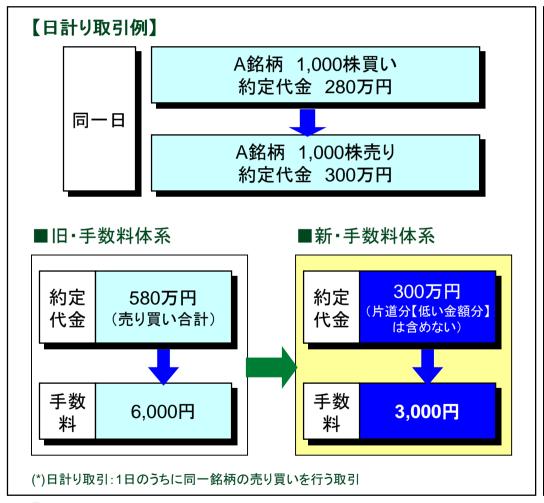
### ターゲット顧客の絞り込み・見直しを行い、ピンポイントにサービスを提供



## 新サービス1:日計り片道手数料の無料化

### 株式・オプション取引で日計りをした場合、片道分の手数料を無料とする

~アクティブ層の中でも「日計り投資家(デイトレーダー)」をターゲットとし、売買シェアの拡大を図る~



#### 【導入の背景】

#### デイトレーダーの増加

手数料の低下・ITの発達により 日計りを行う投資環境が整い デイトレーダーが増加

プロ並みの投資環境を提供

#### ボラティリティの高まり

相場のボラティリティの高まり

リスクヘッジのため新たに日計り を行う投資家の増加も予想

#### 【狙い】

超アクティブ投資家の獲得により売買シェアの拡大を図る



注:無期限信用取引で6か月超保有した銘柄の返済時の手数料は無料 (長期投資における手数料優遇サービスは既に実施している)

## 新サービス2: 少額投資の手数料無料化

### 1日の株式約定代金が10万円以下の場合、手数料を無料とする

~今後の成長が見込める「少額投資家」をターゲットとし、稼動口座数の拡大を図る~

#### 【松井証券の手数料体系:ボックスレート】

1日の約定代金合計	手数料
10万円まで	無料

10万円まで	無料
300万円まで	3,000円
600万円まで	6,000円
900万円まで	9,000円
1,200万円まで	12,000円
:	:

#### 「ミニボックス」の追加

1日の株式約定代金が10万円以下(ミニボックス) の場合、手数料を無料とする(オプション取引は除く)

- (\*1) 2005年1月以降は手数料を500円とする
- (\*2) 新規口座開設者は2005年1月以降も口座開設後 6か月間は手数料を無料とする

#### 【導入の背景】

#### 投資額の小口化

個人株主作り・投資家の裾野拡大のため 投資単位の引き下げを行う企業が増加

少額投資の手数料を無料化にすることで 発行体の努力をサポート

#### 少額投資家の増加

証券仲介業制度やペイオフ解禁を控え 個人の株式への関心が高まると予想

株式初心者等が増え、少額投資に対する ニーズが高まる可能性

#### 【狙い】

少額投資家(株式初心者)の獲得により 中長期的な稼動口座数の拡大を図る



### 🛪 松井証券

# 各業務・サービスの実績

Part2

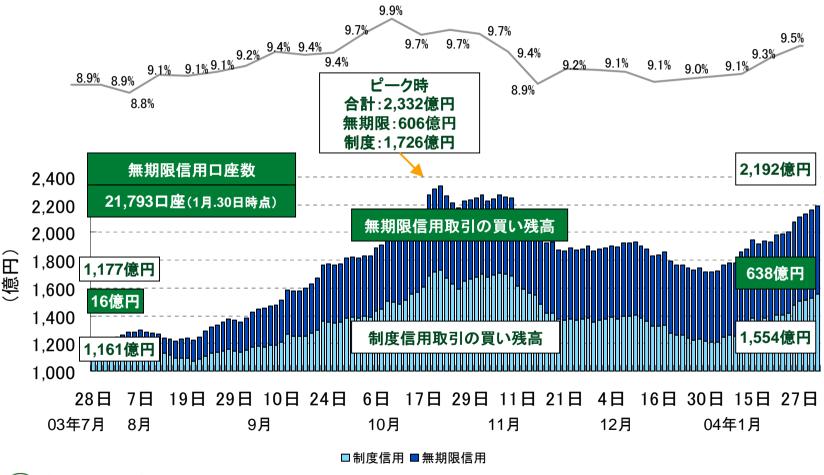


## 無期限信用取引買い残高の実績

### 無期限信用取引の買い残は638億円で全信用取引買い残の29% (1月30日時点)

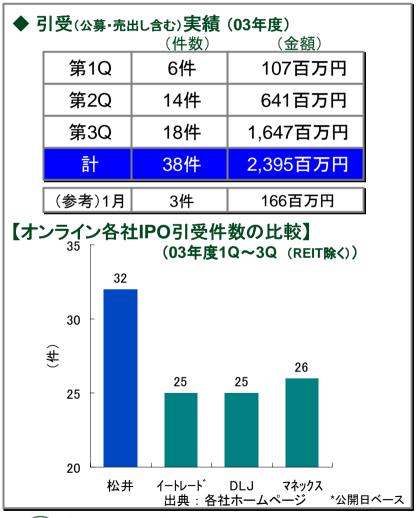
~03年10月には信用取引全体の買い残は2,300億円、無期限信用の買い残は600億円を超える~

◆ 松井証券の信用取引買い残高と三市場残高に占める松井証券シェア



## 引受業務の実績

引受件数38件(引受額24.0億円)、委託販売件数11件(取扱額13.1億円) (03年度1Q~3Q) 立会外分売件数57件(取扱額25.2億円)



◆ 委託販売実績 (03年度)				
		(件数)	(金額)	
	第1Q	4件	3百万円	
	第2Q	5件	1,307百万円	
	第3Q	2件	1百万円	
	計	11件	1,310百万円	
	(参考)1月	0件	0百万円	

<b>♦</b> <u>7</u>	<b>公会外分壳</b>	<b>実績</b> (03年度	;)	
		(件数)	(金額)	
	第1Q	10件	471百万円	
	第2Q	23件	878百万円	
	第3Q	24件	1,168百万円	
	計	57件	2,518百万円	
	(参考)1月	7件	178百万円	

## ストックオプション関連サービスの実績

### ストックオプション指定口座数は568口座、預かり残高は13億円(03年12月末)

~ストックオプション融資金額は92百万円(03年12月末)~

◆ ストックオプション指定口座1の実績(03年12月末) (ストックオプション付与対象者が権利行使して取得した 株券を当社に預けるために開設した口座数等の実績)

> ストックオプション 指定口座1数

568口座

ストックオプション 指定口座預かり残高

1,306百万円

当社を指定証券会社2 に指定した企業数

16社

◆ ストックオプション融資3の実績(03年12月末) (左の口座のうち、権利行使に必要な資金として 当社が融資を行った件数等の実績)

ストックオプション 融資3件数

17件

ストックオプション 融資金額

92百万円

ストックオプション 融資取扱企業数

2社

1. ストックオプション指定口座

ストックオプションを権利行使して取得した株券を保管する口座

2. 指定証券会社

ストックオプションについて税制上の優遇措置を受けるには、権利行使して取得した株券を証券会社等に預ける必要があるため、通常、ストックオプションを発行する企業は株券の保管先として特定の証券会社等を指定する

3. ストックオプション融資

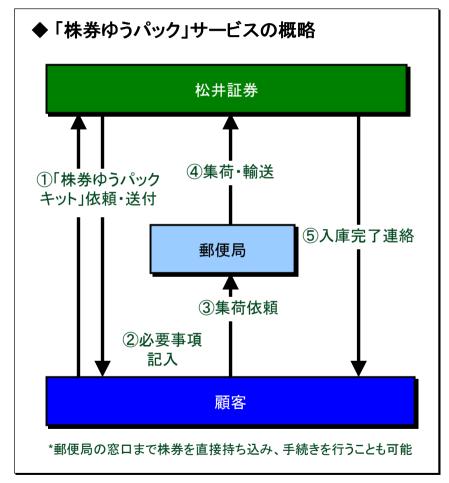
松井証券では、ストックオプションの権利行使時に必要な資金を融資するサービスを行っている

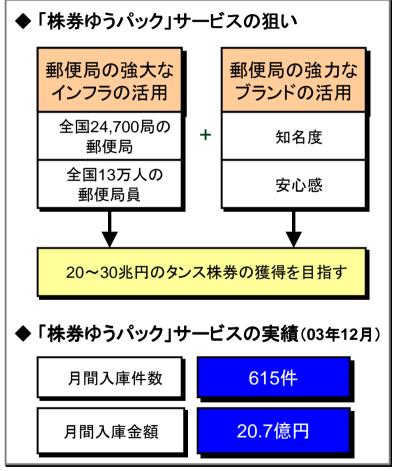


## 「株券ゆうパック」サービスの実績

### 郵便局員が自宅等まで株券を受取りに出向く入庫サービスを開始(03年11月)

~月間入庫件数は615件、月間入庫金額は20.7億円で入庫総額の22%を占める(03年12月)~







## 各種サービスの実績

### NetFx・NetGoldの月間平均売買代金は879億円 (03年度1Q~3Q)

~グリーンシート銘柄の募集件数は7件、取扱額74百万円(03年度3Q)~

		第1Q	第2Q	第3Q
NetFx•NetGold	口座数	2,079口座	3,011口座	3,596口座
Netrx-NetGold	月間平均売買代金	1,060億円	946億円	633億円
グリーンシート募集	件数	ı	5件	7件
	金額	-	62百万円	74百万円
2 3 <b>五 <del> </del> 4</b>	口座数	4,310口座	4,967口座	5,367口座
<b>預株</b>	月末注文残高 (預り資産に類似)	201億円	218億円	211億円

注1:NetGoldは1月末に一時休止予定 注2:「預株」制度の注文残高は月末数値



# 新サービスの一覧

開始月	サービス内容
2003年1月	ネットストックロ座とNetFx・NetGold口座とのリアルタイム振替開始
	日本証券代行との提携による窓口入庫、口座開設 窓口受付サービスの開始
2月	「預株」制度の申込単位引下げおよび取扱手数料の無料化
	中央三井信託銀行との提携による相続・遺言業務サービスの開始
3月	だいこう証券ビジネスとの提携による窓口入庫、口座開設 窓口受付サービスの開始
4月	株式、OP取引を一つのボックスに入れた新手数料体系に変更
7/3	信用取引発注上限の拡大 返済発注上限数量 1,000単元→3,000単元 返済約定上限金額 1億円→3億円
5月	NetFxのUSドル取引単位を1万ドルに引下げ
373	整理ポスト・JASDAQ管理銘柄の立会外取引(損益通算支援サービス)の開始
立会外分売の注文先行受付の開始	
	「松井証券-アメリカン・エキスプレス・カード」の発行開始
6月	監理ポスト銘柄の取扱開始
رره	信用取引・オプション取引・NetFx・NetGold口座の電話審査廃止
	ストックオプション融資サービスの開始
	IPO銘柄の手口情報提供サービス開始
	NetFx4通貨の取引単位を1万通貨単位に引下げ
7月	株式発注上限の撤廃 発注上限数量 3,000単元→無制限 約定上限金額 3億円→20億円
,,,	グリーンシート銘柄の取扱開始
	無期限信用取引の取扱開始
8月	権利入札の取扱開始
9月	整理ポスト・JASDAQ管理銘柄の取扱開始
10月	タンス株券の特定口座入庫対応開始
1071	無期限信用取引のルール変更(金利2.6%→3.1%)
11月	「株券ゆうパック」サービスの開始
12月	取引履歴のCSVファイル出力機能対応開始
2004年1月	札幌証券取引所銘柄の取扱開始
2004-17	ネットリンク入金振込手数料の全面無料化

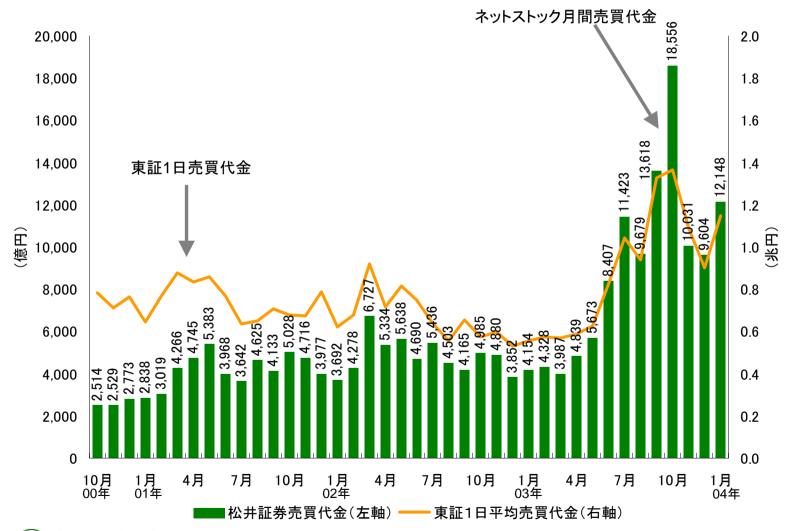
# 各種データ

セクション 4



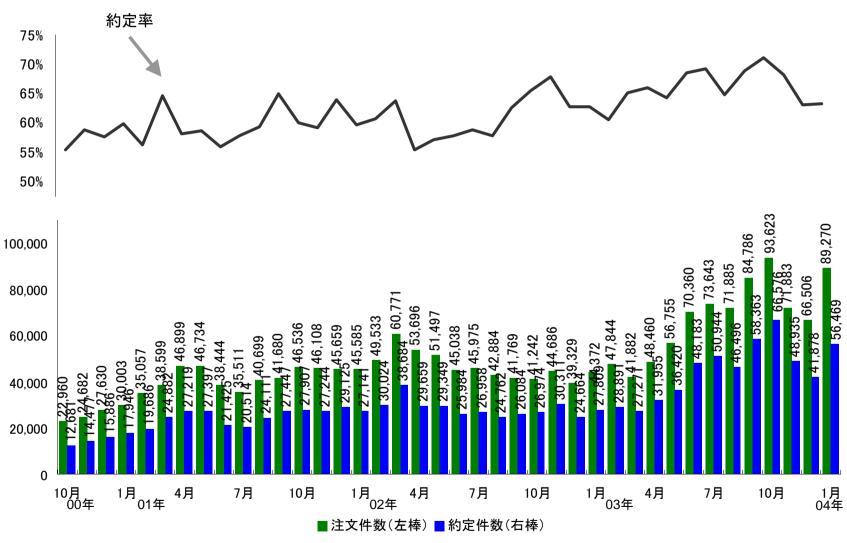
## 売買代金の推移

### ◆ ネットストック売買代金(月間)



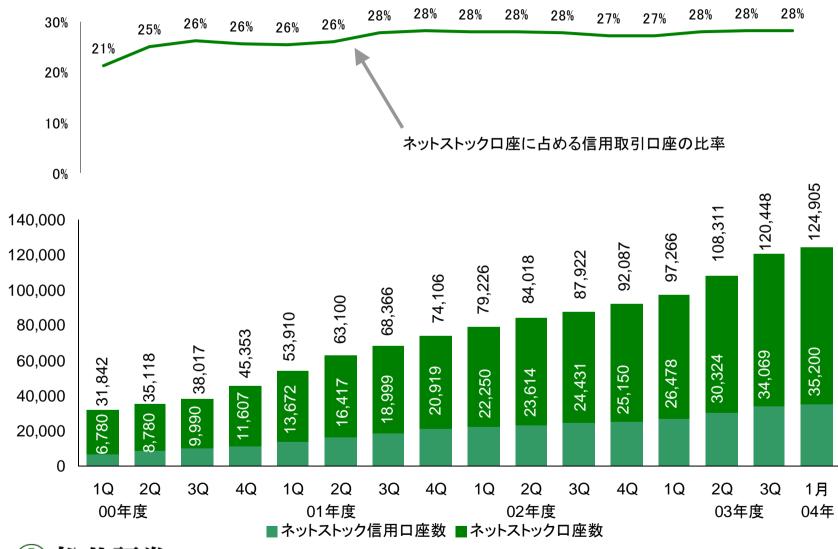
## 注文件数・約定件数の推移

### ◆ 注文件数・約定件数(1日平均)



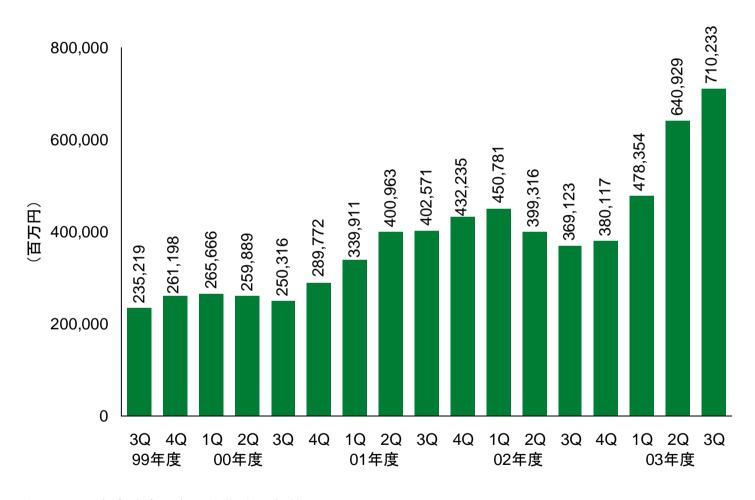
## ネットストックロ座数の推移

### ▶ ネットストックロ座数(四半期)



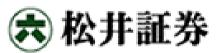
## 預かり資産の推移

### ◆ 預かり資産残高(四半期)



注: 預かり資産残高は各四半期末の数値





東証1部:8628

http://www.matsui.co.jp